

集団乳がん検診のお知らせ

女性がかかるがんの中で最も多いのは乳がんです。乳がんは、2年に1回の検診と毎月1回の自己検査法を行い、早期発見・早期治療をすることで、治る可能性の高いがんです。

自己検査法についての説明も行います。検診を受けられていない方は、この機会に受けましょう。

■日程／平成26年1月6日(月)、20日(月)、2月3日(月)、9日(日)、17(月)

- 場所／健康福祉会館
- 対象／40歳以上(昭和49年4月1日以前生まれ)の女性市民で、昨年度受けていない方
- 料金／40歳代3,000円、50歳以上2,800円
- 定員／各日30人(H26.1/20、2/9は60人)
- 申込／11月5日から電話を受け付けします。



小児用肺炎球菌ワクチンが切り替わります

肺炎や髄膜炎などの予防にはワクチン接種が有効で、従来は7種類の肺炎球菌の成分が含まれているワクチンを接種していました。

肺炎球菌に感染すると、肺炎や髄膜炎などの重い病気を引き起こすことがあります。小さい子どもほど発症しやすく、特に0歳児でのリスクが高いとされています。

11月1日から新たに6種類の成分が追加され、計13種類の肺炎球菌の成分が含まれたワクチンへ切り替えられました。より多くの肺炎球菌の種類に対して予防効果が期待できると考えられています。

新しいワクチンは、従来ワクチンと同様の接種スケジュールで接種できます。接種途中の方は、新しいワクチンで残りの回数を接種することとなりますので、接種計画を立てて予防接種を受けましょう。

8020達成者を表彰 11月8日は「いい歯の日」

加西市歯科医師会と加西市は、80歳になっても自分の歯を20本以上残そうという取り組み「8020(はちまるにいます)運動」を進めています。今年度、いい歯の代表として達成した次の皆さんが、9月に健康福祉会館で開催の「敬老月間ふるさと芸能大会」で表彰されました。一番本数が多かった方は32本でした。

いくつになっても自分の歯でおいしく食事が食べられるように「しっかり噛む習慣」「定期的な歯科健診」「毎日の歯磨き習慣」を心がけましょう。



「敬老月間ふるさと芸能大会」で達成者を表彰

8020 運動達成者 (50音順、敬称略)

阿木 一	新井 愛子	植野 一志	大島 美和	岡 猛	荻野 五郎	尾崎 房男	喜谷 能久
小塩 道弘	小谷 義隆	小西 夕ネ子	小林 利美	佐伯 正幸	三枝 繁	澤下 一	澤中 正春
柴田 守明	菅田 定雄	高橋 宣也	高見 澄子	多田 鈴子	館 正美	豊田 進	内藤 伴治
中村 洋子	仁尾 功	西川 和佐子	西村 敏昭	西村 房子	畑中 耕治	藤田 武	藤本 一子
藤本 一磨	松本 隆司	松本 光子	水谷 久代	渡邊 弘子			

【問合せ】健康課(健康係) ☎④8723 FAX④7521 kenko@city.kasai.lg.jp

加西市障害者基本計画等のアンケートにご協力を!

障害者福祉施策・サービスの基本方針となる計画を策定するにあたり、障がいのある方や市民のみなさまのご意見・ご要望を調査するため、無作為抽出(約2500世帯)によるアンケートを行います。ご協力をお願いします。

郵送時期／11月中旬 回収時期／11月末 問合せ／地域福祉課 ☎④8725

加西病院のコーナー

加西病院ホームページ <http://www.hospital.kasai.hyogo.jp>

第1回 加西市地域医療 市民フォーラム

加西市・加西病院・加西市医師会は、地域医療の課題を共通認識してもらおうと10月3日、健康福祉会館で「第1回加西市地域医療市民フォーラム」を開催し、300人の参加がありました。



■地域医療とは?

市民フォーラムのテーマ「地域医療」とは、次の①～③の全てであり、それらを繋ぐ輪であると考えています。

- ① 医院や病院など地域の医療提供体制
- ② 市民が正しく医療を受ける受療行動
- ③ 市が市民のために行う医療施策

今回のフォーラムで明らかになったことは次の3つです。

- ① 加西市医師会に属する診療所が、市民の健康増進を支える行政サービスを肩代わりして、市民の健康を支えています。
- ② 小児救急は、東播磨や姫路など臨海地域の力に頼り、成り立っています。
- ③ 加西市民の地域医療の要である加西病院が、統合の進む近隣病院との競合などから、これまで維持してきた市民に必要な医療機能を失いかねない状況にあります。

■市民の協力が必要です

私たちの地域医療を守るために何ができるのでしょうか?

現在、全国各地で「わが町の病院を廃れさせてはならない」という市民運動が湧き起こっています。近隣市では、病院の応援団が市民に病院の適切な利用法を啓発したり、おむすびの差し入れや研修医に診察道具セットをプレゼントする「草の根の運動」をしているところもあります。

加西病院から見た「病院の適切な利用」として、救急受診・病診連携・退院協力などがあります。例えば、手術などの専門科の病気は、遠方の専門病院ではなく、加西病院の専門医の治療を受けていただくことで、地域医療が守れます。

医療の結果は本質的に不確実であり、限られた医療提供力のなかでは、すべてのニーズにお応えできないことがあります。

■市民と加西病院は運命共同体です

市民の支持を失って患者がいなくなれば病院は運営も経営もできず、廃院してしまいます。一方、市民が加西病院を失えば、安心して生活するための急性期医療の場を失い、地域は人と活力を無くしてしまうでしょう。

市民と病院が協力しあうことで、私たち市民の医療の場を守っていきましょう。

(病院事業管理者・院長 山邊裕)

加西病院の救急医療受け入れを一時停止

電気設備点検に伴う停電のため、救急医療の受け入れを停止します。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

日時／11月23日(土) 11:00～16:00
問合せ／加西病院・用度管理課 ☎④2200

国民健康保険証が更新されます

12月1日に国民健康保険被保険者証が更新されます。11月20日頃から、世帯ごとに郵送します。

■保険証の色と配達方法

現在お使いの保険証(空色)の有効期限は、11月30日です。12月1日からの新しい保険証(若竹色)を簡易書留郵便で郵送します。

■保険証が届かないと思ったら?

不在で保険証を受け取れなかった場合は、郵便局で12月5日頃まで保管されます。その後は市民課(国民健康保険係)で保管していますので、身分証明書と印鑑を持参して窓口までお越しください。

【問合せ】市民課(国民健康保険係) ☎④8721 FAX④1792 shimin@city.kasai.lg.jp